



戸定歴史館開館30周年記念 令和3年度特別展第3弾 「明治日本の国際化-徳川昭武と渋沢栄一の到達点」 プレス内覧会のお知らせ

1991年11月3日に開館した松戸市戸定歴史館では、開館30周年を記念し令和3年度の特別展第3弾として「明治日本の国際化-徳川昭武と渋沢栄一の到達点」を開催します。

今回の見どころは、徳川昭武がアメリカ現地で購入したステレオグラム(立体写真)や、19世紀のアメリカの鉄道ガイドブックです。鉄道ガイドブックは、アメリカ滞在時の昭武の興味や関心について知ることが出来る貴重な資料です。また、新収蔵資料の中から渋沢栄一の書を展示。徳川昭武・慶喜兄弟、渋沢栄一の後半生とそれぞれの生き方についてたどる展示です。

本特別展の開催に先立ち、報道機関向けに内覧会を行います。ぜひお越しください。

プレス内覧会 日時 令和3年11月19日(金) 15時~16時
(展示室内展示物写真撮影可能)
会場 戸定歴史館展示室

特別展概要

- 会 期 令和3年11月20日(土)から令和4年5月8日(日)まで
- 会 場 戸定歴史館展示室
- 入館時間 9時30分~16時30分(17時閉館)
- 休 館 日 月曜(休館日が祝日の場合は翌日休館)
- 入 館 料 一般150円(戸定邸との共通入館券一般は320円)
高校・大学生100円(戸定邸との共通入館券高大生は160円)
※中学生以下無料
- 展示構成 第1章 帰国と最後の水戸藩主就任
第2章 フィラデルフィア万博参加と二次留学
第3章 人脈の要 一広がる私的ネットワーク
第4章 昭武 慶喜 栄一の交流
エピローグ 昭武と栄一 一そして、次代へ

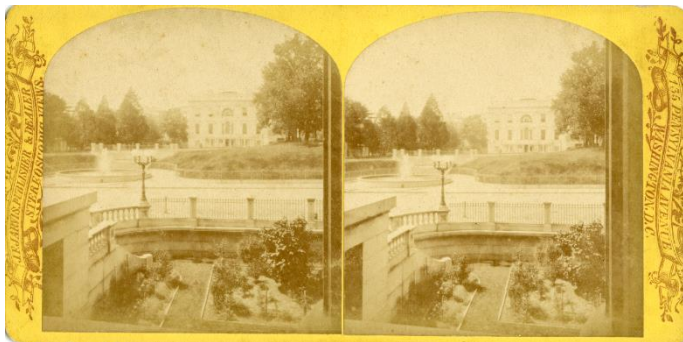


やさシティ、まつど。
matsudo

- 展示概要** 明治時代、日本では国際化が加速していきました。外国との交渉にあたり、有能な元幕臣や関係者が明治政府に採用され、最前線で活躍するようになりました。徳川昭武は政府に所属しませんでした。1867年パリ万博の経験を買われ、1876年のフィラデルフィア万博へ派遣されました。昭武はアメリカ各地へ赴き当時の様子を書き残しています。昭武は明治日本における国際派として、かつて幕府も目指した国際化に貢献したのです。

本展では、徳川昭武はじめ、明治政府の形成に関わった人々の活動を紹介し、国際化という視点で新しい時代の軌跡を追います。

- 展示数** 約130点 ※期間中、作品保護のため、一部展示替えを行います。
- 展示品** 初公開となる戸定歴史館の2020年購入資料(ステレオグラム)を紹介し、その他、渋沢栄一関連資料を初公開します



初公開資料（戸定歴史館所蔵）

※2020年購入資料

「徳川昭武旧蔵ステレオグラムホワイトハウス」
→昭武が1876年にアメリカ滞在時に購入したもの
※自筆の書き込みから推定



初公開資料（戸定歴史館所蔵）

『UNION PACIFIC RAILROAD』
（ユニオン・パシフィック鉄道ガイドブック）
→昭武が1876年のアメリカ滞在時に購入

【本件に関する問い合わせ先】

〒271-0092 千葉県松戸市松戸7-1-1

松戸市生涯学習部戸定歴史館 担当：藤田・小川

☎047-361-0056（月曜休館） FAX047-361-0056

✉ mctojourekishi@city.matsudo.chiba.jp